

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

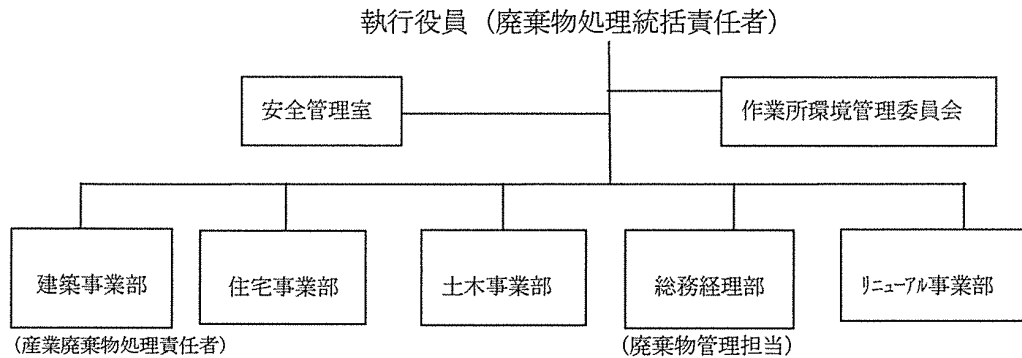
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
29年 6月 28日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県刈谷市泉田町古和井1番地	
氏 名 角 文 株 式 会 社	
代表取締役 鈴木文三郎	
電話番号 0566-22-1811	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	角文株式会社
事業場の所在地	愛知県刈谷市泉田町古和井1番地
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D建設業06
②事業の規模	元請完成工事高 1000000万円
③従業員数	111人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	AS・CONがら・再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化。 木くず・再生処理業者に委託してチップとして再資源化。 石膏ボード・メーカー工場に持って行き再資源化。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		t
	（これまでに実施した取組） 別紙1のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙1のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くず・石膏ボード・金属くずは分別し保管している。作業構内が狭い現場はトン袋を使用し分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定無し。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙2のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙2のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(28年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら	木くず	金属くず	紙くず	廃プラスチック	石膏ボード	ガラス・陶器くず	汚泥
	排 出 量(t)	1347	359	132	145	50	179	97	33	249
	(これまでに実施した取組) アスファルト・がらコンクリートがら・木くず・金属くず・紙くず・石膏ボード・・・排出の抑制は難しいが、分別して再生処理業者に依頼している。 廃プラスチック・・・材料等の梱包材の簡素化。 汚泥・・・現場内で出来る範囲で水分を抜いてから搬出する。 ガラス・陶器くず・・・解体工事でガラスや瓦等は手作業で行なっている。(現物維持)									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら	木くず	金属くず	紙くず	廃プラスチック	石膏ボード	ガラス・陶器くず	汚泥
	排 出 量(t)	1700	700	200	120	100	350	100	50	70
	(今後実施する予定の取組) 昨年度と工事量はあまり変わらないが、解体工事件数が減少し排出量も減り、産廃排出量目標をクリアできた。今年度も昨年同様の工事量があると予想されるので28年度計画に近い目標をたてる。									

(別紙2)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(28年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	アスファルトガラ	コンクリートガラ	木くず	金属くず	紙くず	廃プラスチック	石膏ボード	ガラス・陶器くず	汚泥
	全処理委託量(t)	1347	359	132	145	50	179	97	33	249
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	0	132	145	50	179	97	33	0
	再生利用業者への処理委託量(t)	1347	359	132	145	50	0	97	0	249
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組)									
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	アスファルトガラ	コンクリートガラ	木くず	金属くず	紙くず	廃プラスチック	石膏ボード	ガラス・陶器くず	汚泥
	全処理委託量(t)	1700	700	200	120	100	350	100	50	70
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0t	0	200	120	100	350	100	50	0
	再生利用業者への処理委託量(t)	1700	700	200	120	100	0	100	0	40
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組)									
・優良認定処理業者を優先で処理依頼する。 ・処理場の視察、チェックをする。										

※事務処理欄